

【42757】 水の浄化をシャンプーから取り組みましょう～持続可能な生活資材

提案者情報	
提案 ID	42757
単独法人の提案法人名	株式会社毛髪クリニックリーブ 21
提案団体名（コンソーシアム等の名称）	—
代表法人名	—
構成団体名（法人名等）	共育分科会 摂南大学

提案内容	
提案名	水の浄化をシャンプーから取り組みましょう～持続可能な生活資材
検討テーマ【テーマ】	②環境・エネルギー
【分野】	SDGs 目標 12 つくる責任を实践
提案のポイント	環境低負荷型から環境改善型へ商品開発のターニングポイント 企業の SDGs ゴール目標 12 「つくる責任」において、「環境改善」に合致した商品を 1 社 1 品目以上 生産・販売する活動から普及・定着させる。
提案概要	<p>日本では、1 人 1 日当たり発生する汚濁物質の量は増加しており、河川などの汚濁原因の 50% 以上は「生活排水」（内訳のトップは入浴）との行政データ（平成 11 年度）。</p> <p>具体的な対象は日本人で、生活排水の多い日本が率先して環境行動を示す必要がある。</p> <p>毎日使用するシャンプーにスポットを当てて、植物原料や合成添加物不使用などの商品を使用するだけでなく、水質浄化作用など水質改善を意識した商品開発することで、個人レベルで地球環境に貢献する重要性を訴求する。</p> <p>家庭の排水溝の先に、人間・動物・魚・微生物なども再利用することを再認識する。</p> <p>具体的取組を起こすためのモデル商品を事例に、各企業が「つくる責任」において、「環境改善」に合致した商品を 1 社 1 品目以上 生産・販売する活動から普及・定着させる。</p> <p>今回開発する商品は、環境に対して優しい「従来の性能（環境低負荷型）」にとどまらず、商品を使用した後に環境を改善できる「水質浄化の性能」をプラスした、新時代に向けた「環境低負荷型から環境改善型」の商品を創造することが目的である。これまでの「① 洗浄効果」に加えて「② 頭皮・毛髪感触に対する効果」、「③ 生活用水に対する Low 負荷」、「④ 生活用水の浄化」の 4 要素を包含する All in one タイプの商品の開発を目指す。</p> <p>摂南大学・尾山博士らが 2016 年 2 月に発表した「ワサビノキ（モリンガ）の種子・葉に含まれる有用成分とその多目的利用」の水質浄化作用（尾山 廣、杉村 順夫、山和孝、2016 年、熱帯農業、9 巻、4 1 頁-5 1 頁から抜粋）を使った商</p>

	<p>品開発を行い、環境リサイクルに貢献する産学連携の取り組みとともに、環境に貢献できる商品づくりを企業の「つくる責任」とする普及を万博会場から世界に発信する。</p> <p>なお、摂南大学・尾山博士のご協力により、ワサビノキ（モリンガ）種子抽出液を入れた弊社の既存シャンプーで濁水浄化できることを実証済みである。</p>
--	---

添付資料	
提案内容補足資料	42757_1_8の1.pdf
その他の資料	42757_2_モリンガの有用成分.pdf